

平成29年度事業計画

平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで

公益財団法人豊田市国際交流協会

平成29年度事業計画

公益財団法人豊田市国際交流協会（Toyota International Association: T I A）は、昭和63年10月の設立以来「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生を三本柱とし、地域の国際化を推進しています。

平成28年度は、豊田市のさらなる国際化に向け、「外国人おもてなし市民会議」を立ち上げ、外国人向け交流ツアーや紹介用の英語サイトを開始するとともに、英語ガイドボランティアの養成講座を開催しました。また、「こども国際クラブ」を年間を通して実施し、将来を担う子どもたちに広く国際に目を向けてもらう事業にも努めました。

平成29年度は、隔年実施しておりますデトロイトからの交換留学生の受入や平成28年度開始の上記事業の充実に加え、これまで当協会を中心に実施することが多かった国際交流の機会を、新たに市内各地域で、在住外国人を中心とした市民を主体に、国際交流のコミュニケーションを図る国際化推進事業として実施してまいります。

尚、当協会の活動を支えてくださるボランティアの方々、並びにより多くの賛助会員の皆様のご理解とご支援をいただけるよう引き続き努めてまいります。

公益目的事業

1 地域と諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

【国際交流】

(1) 国際親善使節の受入れ（受託事業＋自主事業）

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深めます。下記以外の団体から申入れがあれば随時検討の上、受け入れます。

ア ウェイン州立大学

米国デトロイト市の大学で日本語を学ぶ学生が豊田市内でホームステイをしながら、市内の工場見学、学校視察などを行います。

時 期 平成29年6月下旬～7月上旬（予定）

受入人数 5人程度

イ デトロイト姉妹都市交流交換学生受入れ

豊田市の姉妹都市であるデトロイト市の交換学生の受入れに対する協力です。ホームステイ、表敬訪問、市内の施設見学を通し、豊田市や日本に対する理解を深めるためのプログラムや市民交流プログラムを提供します。

時 期 平成29年7月下旬～8月上旬（予定）

受入人数 10人程度

ウ その他受入れ

(2) ナショナルデーの開催（受託事業）

とよたグローバルスクエアや市内の施設にて、世界各国の文化や生活を紹介する機会として「ワールドカフェ」、外国人住民と日本人住民が一緒に話し合う機会として「ミライ・カフェ」を開催します。在住外国人や海外経験が豊富な日本人にボランティア活動の場を提供し、市民主体の国際交流の継承と発展に寄与します。

時 期 平成29年4月1日～平成30年3月31日

(3) 「国際の日」事業の開催（受託事業＋自主事業）

T I Aが設立された10月1日を「国際の日」として、市民一人ひとりが豊田市の一員であると同時に国際社会の一員であることを意識し、行動することができるように、T I Aのボランティアグループ・豊田市及び関係機関や団体とともに、下記の事業を行います。

時 期 平成29年秋ごろ

内 容 多文化紹介のステージ・ボランティアグループ主催による各種ブース・大人も子どもも楽しめる体験コーナーなどの交流イベント・国際交流活動紹介パネル展などを予定

(4) 地域の国際交流に関するイベントなどへの協力・支援事業（受託事業＋自主事業）

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種交流事業を類似の団体とともに開催し、交流事業の多様化を図ります。随時、内容を検討の上実施します。

ア 2019RWCに向けた外国人おもてなし推進事業

2019年のラグビーワールドカップを契機として、在住外国人を含む市民が主体となり、来訪する外国人をあたたく迎え入れる体制づくりと人材育成事業の実施により、都市の国際化推進を目指して下記の事業を展開します。

時 期 平成29年4月1日～平成30年3月31日

内 容 外国人おもてなし推進会議の開催・英語ガイドボランティアの育成・外国人向け交流ツアーの実施・PR活動などを予定

イ 地域の国際交流普及事業

在住外国人を中心とした市民が主体となり、新たな地域での国際化推進事業を展開します。

時 期 平成29年4月1日～平成30年3月31日

内 容 地域の外国人・日本人住民がコミュニケーションを深めるための仕組み作りや、交流会や交流活動の推進などを予定

ウ その他関連団体・機関への支援と協力

国際交流・協力・多文化共生の分野においてT I Aとつながりのある団体等への支援や協力をします。

時 期 平成29年4月1日～平成30年3月31日

内 容 イベントへのブース出展やPR活動支援などを予定

【国際協力】

(5) 国際協力機構（JICA）ボランティア説明会開催事業（自主事業）

JICAと連携し、海外ボランティアに興味を持つ市民への情報提供の場とします。シニアや日系ボランティアについても対応します。

時 期 平成29年秋ごろ

2 地域の国際化を推進するための人材の育成と地域の市民活動などの支援に関する事業

【人材育成】

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業（自主事業）

国際交流、国際理解教育、多文化共生の分野で活動したいと考えている人材をボランティアとして登録し、ニーズに応じた活動を展開します。また、登録者及び一般市民のボランティア活動に対する意識向上を図る事業を開催します。

ア ボランティアの登録・育成・紹介の実施

個人又はグループボランティアとして年度毎に登録・更新をします。新たに登録を希望する人には個々のボランティア活動を紹介し、人材の育成を図ります。

・個人ボランティア

子ども英語交流補助ボランティア
にほんごひろばボランティア
災害サポートボランティア
通訳・翻訳ボランティア
インタープリター
ホームステイ・ビジットボランティア

・グループボランティア

英 語

E-IFF

英語ボランティアGLOBE

国際交流

オープンハート

日本文化紹介グループ

多文化共生

Alpha日本語教室

日本語サロン

トルシーダ

国際協力

ほづみ会

Child Needs Home

(2) ボランティア意見交換会の開催（自主事業）

TIAの事業やボランティアグループの活動の情報共有、課題解決に向けて意見交換会を開催します。TIAの諸事業への参加・参画をグループのメンバーに促すとともに、ボランティア活動の環境整備に努めます。

(3) 子ども英語交流補助ボランティア（自主事業）

豊田市教育委員会と協力して、小学校で行われている英語学習の補助をするボランティアを募り、各学校へ派遣します。

時 期 平成29年6月～随時

対 象 18歳以上で、子どもに英語でのコミュニケーションや発音指導の補助ができる市民

(4) 国際理解教育セミナー（受託事業+自主事業）

人権・平和・多文化・環境といった地球規模の様々な問題への理解を深め、その解決に向けて実践的な行動を起こすことができる地球市民を育成することを狙いとした啓発事業を、参加・体験型のセミナー形式で行います。

さらに、将来の豊田市の国際化を担う子どもの国際感覚を育むことを目的に、異なる文化的な背景を持つ多様な人々に対して共感できる気持ちを育むことを主眼とした「こども国際クラブ」を通年開催します。

ア 国際理解教育セミナー

イ こども国際クラブ

時 期 平成29年4月1日～平成30年3月31日

場 所 とよたグローバルスクエア他

対 象 小学校4年生～6年生 30人

内 容 年間20回程度の活動として、海外出身の講師から世界の文化や言語などを学ぶとともに、国際人としての規範を身に付けます。

(5) 外国語講座（受託事業+自主事業）

ア 母語保持教室

中国語及びポルトガル語の保持を希望する子どもを対象に、中国語・ポルトガル語の教室を開催します。

時 期 平成29年4月～平成30年3月予定

イ 英語保持教室

海外から帰国した英語の保持を希望する小学生を対象に、英語保持活動を行う教室を開催します。

時 期 平成29年4月～平成30年3月予定

ウ おもてなし英会話講座

海外からの来訪者をお迎えすることを想定し、コミュニケーションをする時に使える易しい英会話を学びます。

時 期 平成29年4月～平成30年3月予定

(6) 小学生国際理解教育（受託事業）

市内の小学生を対象に国際理解教育を実施します。国際理解教育を学んでいる大学生を中心とした市民グループが講師を担います。各小学校からの申込みを受け、グループとスケジュールを調整し、実施します。また、市内の学校で取り組まれている国際理解教育プログラムについて相談があった場合、関連資料の紹介や講師派遣の支援を行い、国際理解教育を推進します。

対 象 市内小学校の児童
会 場 とよたグローバルスクエア、または各小学校

【市民活動支援】

(7) 草の根の国際交流の推進（受託事業）

市民団体やボランティア団体などが実施する国際交流・国際協力・多文化共生などの分野の事業に関する情報や意見の交換の場として、外国人リーダーを主体とした草の根の国際交流を推進する目的で「外国人市民会議」を開催します。

時 期 平成29年4月～平成30年3月予定

(8) とよたグローバルスクエア運営事業（自主事業）

地域の国際交流の拠点として、国際交流や海外に関する情報の提供及び外国人への生活やイベント、観光地などに関する情報の提供、各種相談への対応をします。さらに、日本人と外国人との交流を深める場、ボランティア活動の場としても、とよたグローバルスクエアを運営します。

ア ライブラリー、雑誌コーナーの運営

市民が諸外国への理解や協力、地域の国際化への認識を深めるために、また、外国人が日本の歴史、文化、社会への理解を深めるために、必要とする図書、雑誌、資料、DVDなどを収集・提供します。

イ 無線LANの設置

無線LANの設置やインターネットによる情報提供を行い、グローバルスクエアを訪れる多くの外国人や市民への情報提供サービスの向上を図ります。

ウ 掲示板など情報コーナーの充実

掲示板など情報コーナーを充実させ、日本人と外国人との交流を深めるきっかけとします。また、多言語の情報・国際理解のイベントなどの案内を収集・提供します。

3 外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

【多文化共生】

(1) 日本語講座（受託事業）

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るための一助となるよう、とよた日本語学習支援システムのカリキュラムを導入した入門～初中級レベルの日本語教室を開催します。T I A全体としての日本語支援のあり方を見直すことで、日本語学習機会の拡充を目指します。

また、豊田市内で開催されている日本語教室との連携を図り、市全体としての日本語支援の底上げを目指します。

時 期	1 期：平成 2 9 年 4 月～8 月
	2 期：平成 2 9 年 1 0 月～平成 3 0 年 2 月
ク ラ ス	入門～初級レベル

(2) 多言語相談事業（受託事業+自主事業）

ア 受託事業として、各種団体と連携しながら、外国人住民が抱える様々な分野の相談に乗り、多文化共生のまちづくりを推進します。英語、ポルトガル語及び中国語での相談窓口を開設・運営します。

イ 自主事業として、海外から帰国した、あるいは海外へ出国する児童生徒とその保護者を対象とした、相談窓口の開設・運営をします。

(3) 通訳派遣事業（受託事業）

外国人住民が市民生活を送る上で、人道・人権に関わる問題、福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続きなどに通訳補助が必要な場合に、豊田市役所の管轄部署を通して、通訳者を派遣します。企業やホテルなど民間団体からの依頼に対しては、緊急のケースに限り有料で派遣することもあります。

(4) 翻訳事業（受託事業+自主事業）

市役所各部署からの翻訳依頼に対応します。また、市役所などの公的機関に提出する文書など公的書類に限り、市民から依頼の翻訳を有料で行います。

(5) 豊田市外国人災害サポートボランティア支援（受託事業）

災害時において、豊田市が実施する外国人住民への支援を円滑に行うボランティア活動の体制構築へのサポートをします。

時 期	平成 2 9 年 4 月～平成 3 0 年 3 月予定
対 象	日本語及び外国語でコミュニケーションができる市民

(6) とよた日本語学習支援システム支援事業（受託事業）

「とよた日本語学習支援システム」（豊田市から名古屋大学への委託事業）所属のシステムコーディネーターへの活動場所を提供するとともに、豊田市と協力しな

がら、外国人住民に対する日本語学習を支援します。

(7) 外国人こども教育支援事業（受託事業）

外国にルーツを持つ、学習支援の場を求める子どもたちの通うNPO法人や小学校の放課後学習支援クラスに対し、ポルトガル語の通訳・翻訳スタッフを雇用し派遣することにより、子どもたちの教育環境の改善に努めます。また、派遣を通して派遣先諸団体とT I Aの連携を図ります。

4 国際交流・国際協力、多文化共生を推進するための情報を提供する事業

【情報提供】

(1) T I A機関誌発行事業（自主事業）

国際交流・国際理解教育・多文化共生に関するT I Aの事業報告などを機関誌として発行し、国際交流の推進とT I Aに対する協力支援を得るため、県内国際交流担当部署、市内各種国際交流団体、T I A賛助会員、関係者及び一般市民に配布します。

発行回数	年2回
発行部数	2,000部/回

(2) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」（自主事業）

豊田市の広報紙に英語・ポルトガル語による各種生活情報を掲載します。

発行回数	24回（毎号掲載）
発行部数	約170,000部/回

(3) T I Aホームページの運営（自主事業）

多言語による情報提供について、外国語に堪能な相談員を活用し、提供できる情報の量と質の拡充を図ります。また、ソーシャルネットワーキングサービスを有効に活用し、市民への情報提供を強化します。

管理部門

協会の財政基盤を支える柱の一つであり、協力者・支援者との接点でもある賛助会員制度の見直しを行い、各事業を通じてより多くの人に協会を認知してもらい、地域の国際化推進に携われるよう、会員の確保を目指します。

また、総務及び会計業務の効率化を図り、より正確で迅速な事務対応を目指します。